

# 宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和8年第24週 (ARIのみ第23週) の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (24 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。
- 3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
- 5 類感染症：多剤耐性緑膿菌感染症 1 例、播種性クリプトコックス症 1 例、百日咳 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	腸結核	発熱、その他
		日向	80歳代	男	肺結核	呼吸困難
5類	多剤耐性緑膿菌感染症	宮崎市	90歳代	男	—	肺炎
	播種性クリプトコックス症	都城	80歳代	男	—	発熱、意識障害、真菌血症
	百日咳	宮崎市	10歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 341 人(定点当たり 20.4)で、前週比 97%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎、手足口病であった。

また、第 23 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 878 人(定点当たり 31.4)で、前週比 95%とほぼ横ばいであった。

#### 【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 115 人(4.1)で、前週比 195%と増加した。年齢群別は 15 歳未満が全体の約 9 割を占めた。

#### 【RSウイルス感染症】

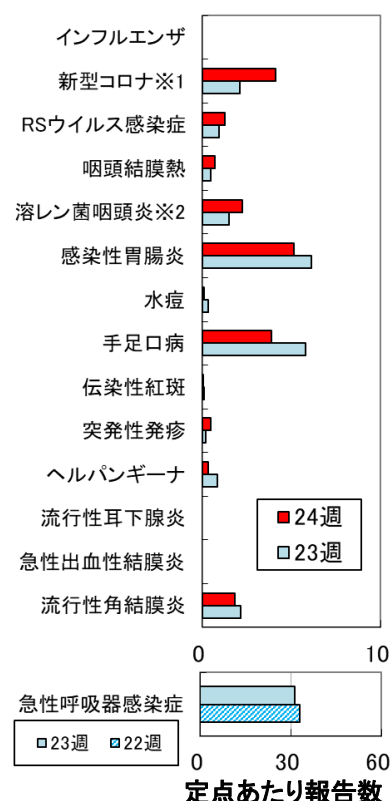
報告数は 19 人(1.3)で、前週比 136%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.18)の約 7.1 倍であった。年齢群別は 1 歳以下が約半数であった。

#### 【手足口病】

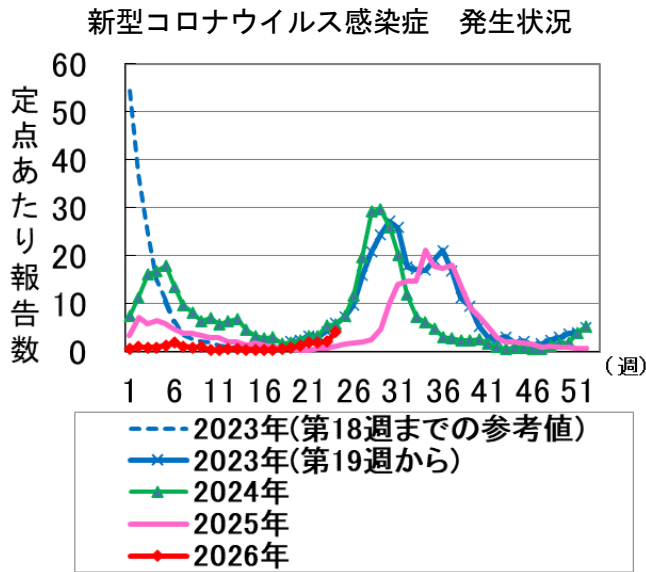
報告数は 58 人(3.9)で、前週比 67%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(5.5)の約 0.7 倍であった。年齢群別は 6 ヶ月から 2 歳が全体の約 8 割を占めた。

\* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

《前週との比較》

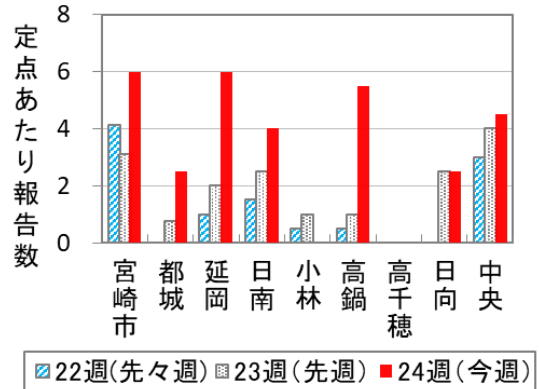


※1 新型コロナウイルス感染症  
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

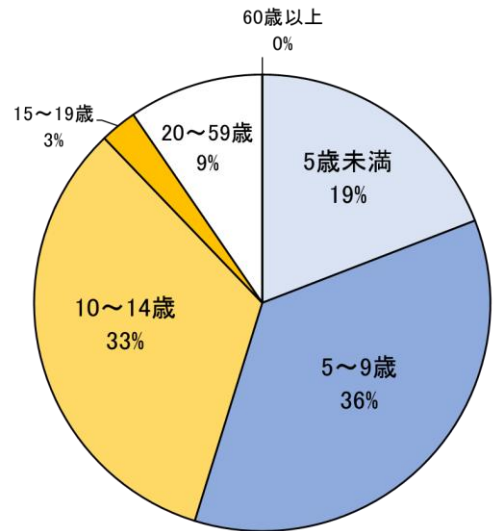


※2025年第15週からは定点医療機関数が58から28に変更  
 ※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

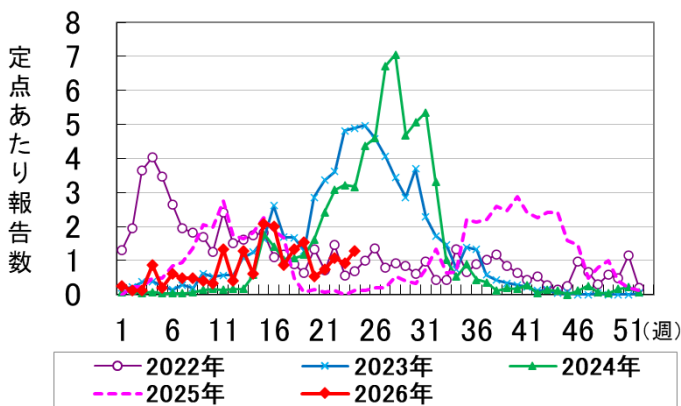
### 新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



### 新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ(第24週)

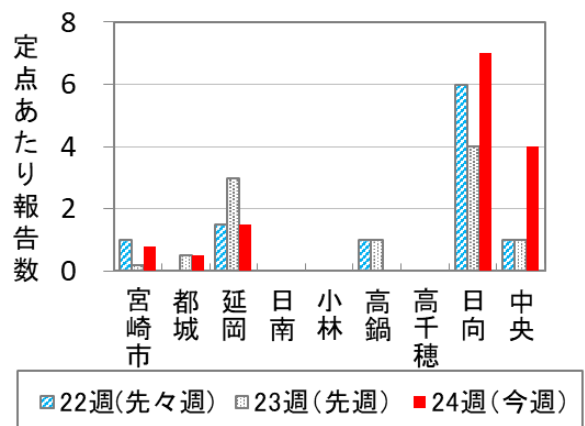


### RSウイルス感染症 発生状況

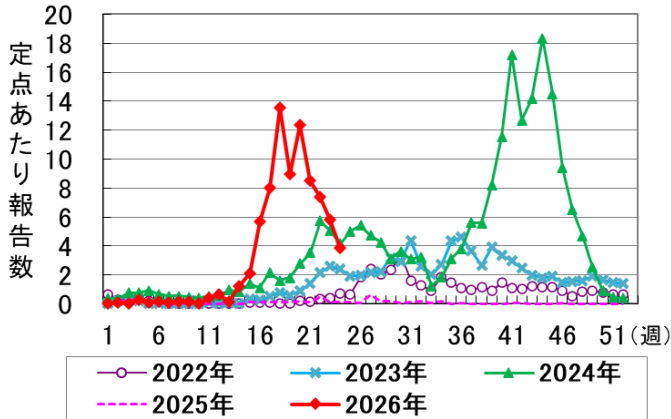


※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

### RSウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

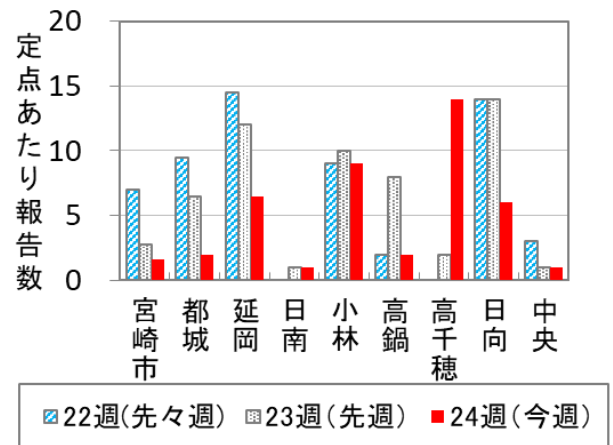


手足口病 発生状況



※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は1例(定点あたり0.14)で、宮崎市保健所から報告があった。年齢は5～9歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	手足口病(6.5)、流行性角結膜炎(11.0)
日南	なし
小林	手足口病(9.0)
高鍋	なし
高千穂	手足口病(14.0)
日向	手足口病(6.0)
中央	咽頭結膜熱(6.0)、水痘(1.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・咽頭結膜熱(3)
- ・手足口病(5)
- ・流行性角結膜炎(8)

※流行注意報レベル基準値※

- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部)

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)

(第23週:6月1日～6月7日搬入分)

検出病原体		検出数	
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス		1	
RSウイルス	A型	0	
	B型	0	
パラインフルエンザウイルス	1型	0	
	2型	0	
	3型	0	
	4型	0	
ヒトメタニューモウイルス		0	
ライノウイルス		0	
エンテロウイルス		0	
アデノウイルス		0	
検出せず※2		2	
受付検体数		3	

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI) : 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

## ✚ 全国 2026 年第 23 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	271 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	82 例	腸チフス	1 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E型肝炎	16 例	A型肝炎	3 例	エムボックス	1 例
	オウム病	1 例	重症熱性血小板減少症候群	6 例	チクングニア熱	1 例
	つつが虫病	2 例	デング熱	1 例	日本紅斑熱	18 例
	レジオネラ症	44 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	15 例	ウイルス性肝炎	6 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	16 例
	急性脳炎	9 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例
	後天性免疫不全症候群	15 例	ジアルジア症	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	11 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	43 例	水痘(入院例)	12 例
	多剤耐性緑膿菌感染症	2 例	梅毒	209 例	播種性クリプトコックス症	5 例
	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	99 例
	麻しん	2 例				

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 101%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は手足口病で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 96%とほぼ横ばいであった。

感染性胃腸炎の報告数は 11,033 人(4.9)で前週比 95%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\*(6.5)の約 0.8 倍であった。石川県(9.8)、奈良県(9.0)、愛媛県(8.2)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 3 割を占めた。

手足口病の報告数は 4,485 人(2.0)で前週比 140%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.6)の約 1.2 倍であった。鹿児島県(11.4)、大分県(9.3)、熊本県(9.1)、石川県(9.1)からの報告が多く、年齢群別では 6 ヶ月から 2 歳が全体の約 9 割を占めた。

\* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015—2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

## 月報告対象疾患の発生動向 <2026年5月>

### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は35人(2.7)で、前月比103%とほぼ横ばいであった。また、昨年5月(2.9)と同程度であった。

《疾患別》

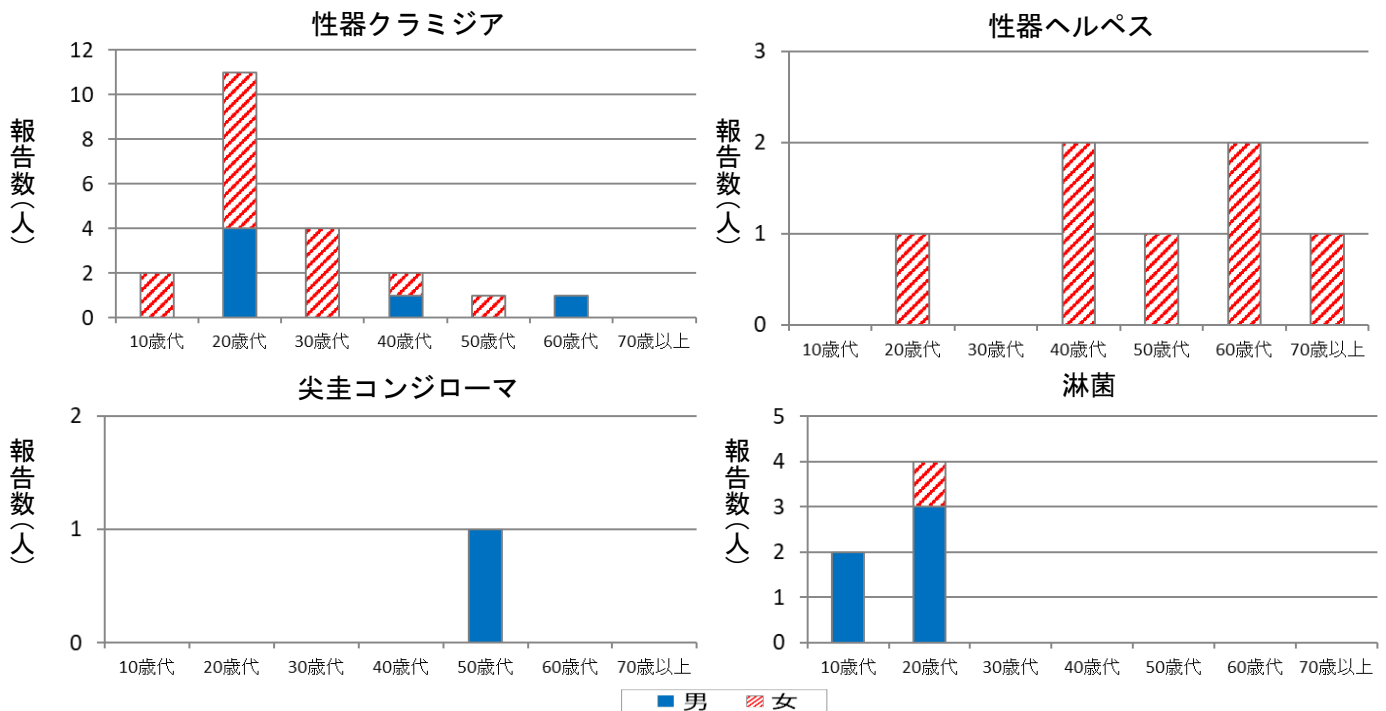
○性器クラミジア感染症：報告数21人(1.6)で、前月の約1.2倍、昨年5月と同率であった。

20歳代が全体の約半数を占めた。(男性6人・女性15人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数7人(0.54)で、前月の約0.9倍で、昨年5月の約0.8倍であった。(女性7人)

○尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月及び昨年5月の約0.3倍であった。(男性1人)

○淋菌感染症：報告数6人(0.46)で、前月の約1.2倍、昨年5月の約2.0倍であった。(男性5人・女性1人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,114人(4.2)で、前月比100%と横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,188人(2.3)で前月比101%、性器ヘルペスウイルス感染症875人(0.90)で前月比98%、尖圭コンジローマ462人(0.48)で前月比102%、淋菌感染症589人(0.61)で前月比94%であった。

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は18人(2.6)で、前月比129%と増加した。また、昨年5月(2.6)と同率であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数18人(2.6)で、前月の約1.3倍で、昨年5月と同率であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,260人(2.6)で、前月比107%と増加した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,222人(2.6)で前月比106%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症38人(0.08)で前月比133%であった。

宮崎県 感染症情報

(41定点医療機関)

2026年 第24週(06月08日~06月14日)

疾病名		第23週	第24週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	59	115	54	10	18	8		11		5	9
	定点当り	2.11	4.11	6.00	2.50	6.00	4.00	0.00	5.50	0.00	2.50	4.50
RSウイルス感染症	報告数	14	19	4	1	3					7	4
	定点当り	0.93	1.27	0.80	0.50	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	7.00	4.00
咽頭結膜熱	報告数	7	11	3		2						6
	定点当り	0.47	0.73	0.60	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	23	34	21	4	2	1	1	2		1	2
	定点当り	1.53	2.27	4.20	2.00	1.00	1.00	1.00	2.00	0.00	1.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	92	77	11	8	4	7	19	1		19	8
	定点当り	6.13	5.13	2.20	4.00	2.00	7.00	19.00	1.00	0.00	19.00	8.00
水痘	報告数	5	2	1								1
	定点当り	0.33	0.13	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
手足口病	報告数	87	58	8	4	13	1	9	2	14	6	1
	定点当り	5.80	3.87	1.60	2.00	6.50	1.00	9.00	2.00	14.00	6.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	2	1				1					
	定点当り	0.13	0.07	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	3	7	3		2		1			1	
	定点当り	0.20	0.47	0.60	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	13	5	1		2		2				
	定点当り	0.87	0.33	0.20	0.00	1.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	13	11			11						
	定点当り	2.17	1.83	0.00	0.00	11.00						
細菌性髄膜炎	報告数										0.00	
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数										0.00	
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	2	1	1								
	定点当り	0.29	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			0.00
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			0.00

2026年 第23週(06月01日~06月07日)

		第22週	第23週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	926	878	240	107	118	42	82	78	37	124	50
	定点当り	33.07	31.36	26.67	26.75	39.33	21.00	41.00	39.00	18.50	62.00	25.00

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2026年 第01週~24週 保健所受理分)

2類感染症	結核	67例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	18例		
4類感染症	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	3例
	日本紅斑熱	6例	レジオネラ症	3例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	クリプトスポリジウム症	1例
	後天性免疫不全症候群	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例
	多剤耐性緑膿菌感染症	1例(1)	水痘(入院例)	4例
	破傷風	1例	播種性クリプトコックス症	4例(1)
			梅毒	27例
			百日咳	38例(1)
			麻疹	1例

( )内は今週届出分、再掲